

2016年ルール改正点

H28.4.10

1. P 2 3 J T A (I T F) が指定する大会では、指名されたコーチが試合コートに入ってコーチングをすることが認められている。
2. P 2 6 上肢の障害のため腕や手で車いすを動かさない選手は片足で車輪を操作することができる。
3. P 3 2 ファスト4ルールが新設された（16～17年の2年間）
4. P 6 1 9) インプレー中、落下物のレット・コールは、相手のプレーヤー（組）が妨害を受けたと判断した場合に限りコールできる。ただし、落としたことがプレーに影響を及ぼしていない場合は、ポイントは成立する。
5. P 1 2 0 R / R の順位決定基準が変更された。（試合完了が前提となった）
6. P 1 2 7 トイレットブレイク 緊急時自分のサービス前ならとることができる。(1Set Match, 8Games Pro-Sets)
7. P 1 3 0 ヒートルールの適用はベテランと一般では違う。
ベテランは各セット前に5分、一般（P 1 2 3）はファイナルセット前に10分間。
8. P 1 7 7 コートオフィシャルのコードオブコンダクトが設けられた。
9. 出血止めの処理について、M T O の3分間での処理が無理であれば、5分まで延長できる。

※上記以外に、J T A 公式トーナメント管理規程・ベテランツアー管理規程・公式トーナメント競技規則が大幅に改定されています。特に、大会レフェリー、ディレクターを務める方は十分ご留意願います。